

令和4(2022)年度学校評価保護者アンケート
 ※アンケート回収率76%(全保護者25名中19名)

1 学校評価アンケート質問数及び質問内容の変更について

質問内容は、令和3年度と同じであった。

2 学校評価アンケート調査結果

[教育活動全般について]

- ・1、2、3、の項目は、A+B の評価で 100%であった。
- ・「4災害対策」では、E:わからないが前年比1名減の1名であった。
- ・「5いじめ防止」では、A+Bは 84%で5パーセント減であり、昨年度に比べて、E が5%増であった。

【考察】

4、5について、昨年度と今年度の取り組み状況や情報発信の比較を行いつつ、次年度に向けた改善点を考えていく。

[児童生徒の指導について]

- ・4項目すべてで、A+Bが 90%以上となった。
- ・重点項目の「2学習指導」ではA+Bが 94%で前年比5%減であったが、Aは6%増となった。
- ・重点項目の「3児童生徒会活動・学校行事」では、A+Bが 89%であり、2名増となった。

【考察】

・重点項目の「3児童生徒会活動・学校行事」では、運動会やわかくさ祭を保護者に公開するなど、保護者への情報発信を強化したことにより、学校が「より多くの児童生徒がかかわりをもてる活動を設定している」ことへの理解を得られたと思われる。

[家庭・地域・関係機関との連携について]

- ・2、4の項目で、A+Bが 90%以上になった。
- ・重点目標の「5リハビリテーションセンターとの連携」では、A+Bが前年比11パーセント増 95%で、Cが5%であった。

【考察】

「5リハビリテーションセンターとの連携」については、本校担任とセンター担当保育士及び看護師との面談を設定するなど取り組みが行われた。今後も継続が望まれる。

2 まとめ

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、学校行事を保護者限定公開するなど、保護者への情報発信を前年度よりも増やすことができた。今回のアンケートでは、ホームページでの発信、各種通信、連絡帳や電話を活用しての保護者への連絡、保護者懇談などの情報発信により、本校の教育活動が保護者に伝わっていることが分かった。あわせて、運動会やわかくさ祭を保護者に公開する等、保護者の目で、児童生徒の活動を見ていただくことが重要であることを再確認できた。

また、栃木県立リハビリテーションとの連携では、センターの協力により、医療的ケア児が修学旅行に参加できるシステムが整備されたり、本校の自立活動職員研修に講師として協力いただいたりした。本校も、こども発達支援センター学習会に相談部教職員が講師として出向くことで、さくらんぼ教室での様子について伝え、早期教育相談の主旨を啓発することができた。これらのことから、センターとの連携の重要性を再度認識した。次年度も、センターとの連携を十分に図っていききたい。また、通学生の保護者との連携もセンターと同様に密にすることで、児童生徒の健康安全を保持増進していききたい。

来年度も、必要な教育活動の見直しを行いながら、児童生徒、保護者の思いを受け止め、地域、関係機関と連携し、校内の教職員が合意形成を図りながら、本校の教育活動を行っていききたい。